

平成 30 年 10 月 15 日

真弓南自治会役員会

農園化問題 班別説明会 報告

先般 9 月 16 日、休日にもかかわらず農園化問題説明会にご参加いただき、ありがとうございました。

まずは、今回初めて自治会員の皆様へ向けて説明会を開催させていただきました経緯をご説明いたします。

この農園化問題は、平成 26 年より事業主から提案されておりました。当初、現・資材置き場を閉鎖し農地を造成する、という提案でしたが、今年度はじめ、23 班隣接の生駒市緑地(傾斜地)の埋め立ての計画を示され、同意の要請がありました。

そこで、この生駒市緑地(傾斜地)埋め立てについての自治会の意見をまとめるため

- ・事業主の説明会(5/12、7/29 の 2 回)
- ・22、23 班合同班会議(6/17)
- ・9 月度協議会での班長向け説明会(9/2)

これらを経て、今回の 9/16 班別説明会を実施し、傾斜地埋め立てに関するアンケートをお願いし、会員の皆様のご意見を集約しようと考えておりました。

本来、この「傾斜地埋め立て計画」の問題に絞って、会員の皆様にご説明し、意見を募るべきところを、説明会当日は、農園予定地(上町)全般の埋め立てや、上町自治会のスタンス、埋め立てに使う土砂の処理にまで話が及び、会員の皆様には複雑化した判りにくい説明となってしまいました。申し訳ございませんでした。

以下は説明会のご報告と、アンケートにいただいたご意見です。

【班別説明会 参加者】 34 名(班長除く)

【アンケート結果】 説明会参加者＋班長事前アンケート

生駒市緑地(傾斜地)埋め立て:賛成 4 名、反対 24 名、無回答 6 名

【班別説明会、アンケートでの主な意見】

・農園化は数年前から事業主が同じことを言っている。今回の申し出も同じ繰り返しであり、本当に農園化するのか信頼できない。

・埋め立て後の農園化はカモフラージュで、真の狙いは残土処理場にあることではないか。農園化を本当にやる気があるのか？残土処理を引き伸ばすための農園化ではないか。

・3 年で埋め立てると言っているが、何年かかるのか判らない。その埋め立ての「土」は、何を埋められるのかわからない。

・5 月の事業主説明会以降でも、深夜に作業が行なわれている日がある。事業主は誠意がなく、信頼できない。現在まで 20 年近くも「改善」の約束が破られ続けており、提案内容も信用できない。

・残土処理や生駒市緑地(傾斜地)を埋め立てることで事業主の利益になる。事業主の言うとおりに進め、利益供与することに合点がいかない。

・生駒市緑地(傾斜地)は防波堤であり、緑地を埋め立てないことが、農園化反対の意思になるのではないか。

・生駒市緑地(傾斜地)を埋めなくても、事業主の敷地内を埋めるのであれば、今の景観も破壊される。ならば傾斜地を埋めてもよいのではないか。

・この農園化案は平成 26 年 7 月に自治会へ提案され、当時、農園化協議会を作り対応にあたったものである。今年度の総会議事でも引き継がれており、今後も農園化協議会として、真弓南の提案をすべきである。

・その協議会引継ぎに記載されているように、詳細内容と日程、農園の規模、販売所の設置、農園化事前工事等、工事期間中の車両通行問題、騒音問題、危険防止作等々、周辺に及ぼす環境問題を整理し、自治会としてどうするのか提案願いたい。それでないと言えない。

・詳細計画もないのに、参加アンケートに「賛成・反対」意見を出せとは無理がある。

・生駒市の手続き等、仕組みを聞くべきである。

・1～2 年で解決できる問題ではない。解決策をしっかりと打ち出していきたい。

・近年の土砂災害をみると、生駒市緑地(傾斜地)を残さず、事業主に埋めてもらう方が得策ではないか。この町を次世代へ引き継ぐためにも、埋めて安全にすべきである。

・仮に 3 年で埋め立てが終わるのであれば、3 年我慢すれば資材置き場がなくなり、現状より良くなるのではないかと。近隣の 23 班の皆さんは、造成を 3 年間我慢するのと、このまま資材置き場の騒音が続くのと、どちらの方がよいとお考えなのか。

・近隣にお住まいの方々の意見を尊重されたい。

以上が説明会とアンケートでいただいた主なご意見ですが、事業主の信頼性や農園予定地全般の残土埋め立てに関する懸念が殆どでございました。

また、一部には生駒市緑地(傾斜地)の土砂災害を懸念するご意見もありました。

今後の予定ですが、説明会やアンケートで頂いた皆様のご意見を参考にさせていただき、合わせて近隣の皆様のご意見を改めてうかがいたと思います→10/6(土)に、23 班班会を開催。報告説明済。

そしてまとめた自治会の意見を、11 月を目処に事業主へ回答させていただきます。

回答については、次回協議会で報告させていただきますが、合わせて会員の皆様のご意見がございましたら、自治会までお寄せください。

生駒市緑地(傾斜地)埋め立ての事業者への回答が終わりましても、20 年近く続いている資材置き場の環境阻害の停止が目標であることに変わりはありません。

今後、事業主・行政へ、改善要望書等の提出、交渉の検討をしてまいります。

また事業主所有地(農園予定地)全般の埋め立ての問題に関しましては、周辺の自治会(上町・奈良市二名町)と共に取り組んでまいります。

会員皆様のご理解、ご協力をよろしくお願いいたします。

以上